

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 30-008

PDCA	事務事業名	図書館、博物館施設等改修事業	部課等名	教育部 博物館	担当	稲葉	
					内線等	23-7173	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第5章 育ち合い共生を進めるまち 節： 第2節 生涯学習の推進 基本施策： 3. 文化の継承と創造 単位施策： (2) 文化の振興 個別施策： ②博物館の活用					
	根拠法令等	博物館法、半田市立博物館条例、半田市立博物館条例					
	対象・目的	図書館・博物館が適切に運営できるよう、必要な施設等改修を行い、利用者の安全・安心を確保するとともに、施設等の維持及び延命化を図る。					
	目的を達成するための手段・活動内容	・故障・修繕必要箇所を適切に把握し、優先順位をつけながら施設及び設備の改修工事について中・長期的な計画を立てる。 ・3か年計画として計上した改修工事を来館者の安全を確保しながら計画的に実施する。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	29年度	30年度	元年度	単位	
		①施設改修工事件数	1	4	3	件	
		事業費	21,546	32,336	13,047	千円	
		人件費	1,904	2,061	1,615	千円	
		総事業費	23,450	34,397	14,662	千円	
		活動単位当たりのコスト	29年度	30年度	元年度	単位	
	①施設改修工事費	21,546	8,084	4,349	千円		
	成 果	成果指標	29年度	30年度	元年度	単位	
		①施設改修工事が予定通り実施され、施設が安全、安心に利用できる状態であること。	実績値	—	—	—	
			目標値	—	—	—	
			実績値				
目標値							
実績値							
目標値							
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ない		
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない
	事業の評価・課題	B					
		令和元年度は、図書館・博物館空調（事務室）更新工事、図書館・博物館エントランス屋根防水改修工事等を行った。現施設は昭和59年に開館していることから、建物及び設備の老朽化が進行している。必要な改修を計画的に要望のうえで実施しているものの、修理箇所数は年々増えており費用も高額である。					
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進					
		図書館・博物館は、地域文化の振興や市民の学習活動支援にとって重要な社会教育施設である。今後も適切に運営できるよう、必要な施設等改修を行っていく。利用者の安全・安心と、郷土の貴重な財産である収蔵資料の保管環境を確保するとともに、施設の維持及び延命化を図っていく。					
	令和2年度の目標	成果指標				目標値	単位
		施設等改修工事が予定通り実施され、施設が安全、安心に利用できる状態であること。 ※本事業は、施設が安全、安心に利用できるよう施設改修を不備なく行うものであるため、数値的な目標設定は適切でない。そのため、目標が達成された状態を上記のとおり文書にて表記するものとする。				—	—